

No 62

Japan
Handball
Association



社会人
 学生
 高専
 高体連
 中体連
 小学生

全国大会
 ブロック大会
 都道府県大会

男子
 女子

試合
番号 **函館大学-男40**

ハンドボール

年月日 2023 年 7 月 28 日 (金)
 大会名 令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会

公式記録用紙

A 富山県立氷見高等学校										B 茨城県立藤代紫水高等学校									
北海道					函館市					函館大学アリーナ					3回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mラウンド	A	B					
	17	12	35	29															
7m得点/総数		A チームタイムアウト			B チームタイムアウト			7m得点/総数											
2/2		1	2	3	1	2	3	1/1											
		2948			2909			2453		7m得点/総数									
No.	氷見				G	W	2'	D	DR	No.	藤代紫水				G	W	2'	D	DR
1	紅出 和之助									1	齋藤 颯遠								
3	山本 天雅									2	瀬霜 孝介								
4	坂元 颯来				1					3	藤井 悠輔				4	1			
5	川崎 雄大				4					4	飛澤 翔				3				
6	畑中 大翔									5	大橋 真人				8				
7	辻 拓真				1					6	牛丸 三士朗				2				
8	山崎 翼				12	1				7 c	生鷹 頼太								
9	坂本 光世				3					8	小久保 稔				5				
10	斉藤 迪樂				5		1			9	大友 克海				5				
11	本川 想羽				3					10	太田 晴斗								
12	薮下 柊斗									11	山本 隼司								
13	村 眺太郎				5					12	上西 光生								
16	大森 柊弥									14	熊谷 継				2				
17 c	本川 拓斗				1					17	篠内 崇人								
監督A	海道 衛秀									監督A	小倉 慶輔								
役員B	酒井 政勝									役員B	滝川 一徳								
役員C	徳前 紀和									役員C	会田 亮祐								

A **海道 衛秀** チーム役員A署名 **小倉 慶輔** B

特記事項

レフェリー	駒谷 研志	波多野 祐介	駒谷 研志	波多野 祐介
TD	小野寺 明彦	谷口 嘉朗	小野寺 明彦	谷口 嘉朗
MO	永春 文義		永春 文義	

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入



Japan Handball Association

記録用紙

ランニングスコア

試合
番号

函館大学-男40

No 63

年月日	2023年 7月 28日 (金)	会場名	函館大学アリーナ
大会名	令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会		

ハンドボール

A	富山県立氷見高等学校	35	vs	29	茨城県立藤代紫水高等学校	B	男子	3回戦
---	------------	----	----	----	--------------	---	----	-----

スローオフ
氷見

17	-	12
18	-	17
-	-	-
-	-	-
-	7mTC	-
-	-	-

No.	氷見	G	W	2'	D	DR
1	紅出 和之助					
3	山本 天雅					
4	坂元 颯来	1				
5	川崎 雄大	4				
6	畑中 大翔					
7	辻 拓真	1				
8	山崎 翼	12	1			
9	坂本 光世	3				
10	斉藤 迪楽	5	1			
11	本川 想羽	3				
12	数下 稔斗					
13	村 暁太郎	5				
16	大森 稔弥					
17 c	本川 拓斗	1				
監督A	海道 衛秀					
役員B	酒井 政勝					
役員C	徳前 紀和					

No.	藤代紫水	G	W	2'	D	DR
1.	齋藤 颯道					
2	瀬霜 孝介					
3	藤井 悠輔	4	1			
4	飛澤 翔	3				
5	大橋 真人	8				
6	牛丸 三王朗	2				
7 c	生藤 颯太					
8	小久保 穂	5				
9	大友 克海	5				
10	太田 晴斗					
11	山本 隼司					
12	上西 光生					
14	熊谷 纒	2				
17	篠内 崇人					
監督A	小倉 慶輔					
役員B	滝川 二徳					
役員C	会田 亮祐					

Ref	駒谷 研志	波多野 祐介
T.D.	小野寺 明彦	谷口 嘉朗
MO	永春 文義	

A				B			
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番	
前半							
5	1	00	39				
		01	46	1		8	
8	2	02	51				
11	3	03	13				
		04	17	2		8	
17	4	06	19				
		06	52	3		3	
		08	13		W	3	
10	5	08	40				
		08	56	4		5	
8	W	09	44				
		10	54	5		8	
5	6	11	08				
8	7	11	48				
5	8	13	05				
		13	40	6		14	
8	9	13	50				
		14	07	7		6	
8	10	15	56				
		16	09	8		5	
13	11	16	37				
10	12	17	23				
		19	14	9		5	
		20	45	10		9	
10	13	21	16				
8	14	22	21				
		23	44	11		4	
8	15	24	16				
		25	35	12		9	
7	16	27	57				
8	17	29	02				
		29	09		T		
		29	48				
後半							
10	S	02	40	13	O	8	
		03	33	14		9	
13	18	04	04				
		04	27	15		9	
13	19	05	21				
		05	57	16		5	
8	20	06	55				
		07	22	17		6	
9	21	08	01				
8	22	08	45				
		09	22	18		3	
11	23	10	32				
		11	01	19		5	
8	24	12	27				
		12	44	20		3	
13	25	13	13				

A				B			
背番	結果	得点	時間	得点	結果	背番	
		13	45	21		8	
10	O	26	14	42			
9		27	16	22			
8		28	16	45			
		17	58	22		14	
4		29	19	48			
		20	33	23		5	
		21	38	24		5	
11		30	22	15			
		22	37	25		4	
8		31	23	14			
		23	38	26		3	
13		32	24	52			
		24	53			T	
		25	19	27		9	
9		33	25	44			
		26	17	28		5	
		26	56	29		4	
10		34	27	26			
5		35	28	20			

特記事項

No 64

令和5年度全国高等学校総合体育大会ハンドボール競技大会
高松宮記念杯第74回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

試合結果・戦評報告書

ハンドボール

競技日	2023年7月28日(金)		会場	函館大学	
種別	男子		回戦	3回戦	
チーム名			チーム名		
県立氷見高等学校			県立藤城紫水高等学校		
得点合計	小計		小計	得点合計	
35	17	前半	12	29	
	18	後半	17		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

選抜大会の反省を生かして上位を狙いたい両校の試合は、序盤5対5とお互いに一步も譲らない展開となった。紫水は、ここまでにCB⑧小久保を中心に積極的に攻め込んだ。しかし、これで氷見のディフェンスが絞りやすくなったのか、ラインを高くした5-1で紫水の突破を抑え込んでいく。なかなかディフェンスの割れない氷見に対して、紫水⑤大橋がディスタンスシュートを狙うも、ゴールポストに阻まれるなど、思うように得点することができない。先に抜け出したのは、PV⑤川崎とRB⑧山崎のタイミングの良い動きで活路を見いだした氷見だった。20分には、12対9と3点差にするが、紫水GK⑫上西が好セーブを連発するなど獅子奮迅の活躍を見せ、まだ試合の行方はわからない。氷見は、⑬村が鋭いフェイントからのパスワークをいかし、オフェンスの幅を広げていく。LW⑩齊藤も苦しい場面でループシュートを決めるなどして前半を17対12で折り返した。

早く追いつきたい紫水は、後半スタートで2連取し、反撃ムードを高める。しかし、氷見は⑬村を起点に⑧山崎⑨坂本のディスタンスシュートなどで着実に加点し、4点差で10分を迎える。その後も点の取り合いとなるが、⑩齊藤の7mTを皮切りに3連取すると29対21に。紫水は、RW、LWをPVにおいてブロックを使ったコンビプレーに発展させようと試みるも、結局は個の力に頼ってしまう結果になってしまった。

氷見は、アクティブなディフェンスでボールカットをねらいながら、最後まで全員で走り抜き、自分たちのよさを最大限に発揮して勝利を掴んだ。

記入者

高田 智史